

地域と大学を結ぶ広報誌

城西

創立50周年

Vol. 15

2015.12

増刊号

ニュース

半世紀の節目を 盛大に祝う

創立50周年記念式典 国内外から総勢約1300人が参加
創立50周年祝賀会 美しい歌曲が花を添える

 城西大学
 城西短期大学



世界学長会議

「グローバル社会と高等教育:新時代における日本の国際教育への提言」

第48回高麗祭

「半世紀の集大成 ~楽しい高麗祭 あなたにコミット~」

目次

- 02 [ニュース] 半世紀の節目を盛大に祝う 創立50周年記念式典
- 04 創立50周年祝賀会 水田三喜男記念館・新薬学部棟建設工事 起工式
- 06 [ニュース] 第48回高麗祭
- 08 [ニュース] 世界学長会議 「グローバル社会と高等教育」
- 09 [シリーズ] 先輩訪問 ホテルメトロポリタン盛岡取締役総支配人 吉田 亮さん
- 10 [ニュース] 現代詩に関する座談会と詩・連詩朗読会「Modern Poetry Event III」 特別展「水田コレクション 精華展」
- 11 [ニュース] 坂戸よさこい 第24回 日本語スピーチコンテスト
- 12 [シリーズ] 学生互版ワイド 学内外で活躍する城西人たち
- 14 [図書館だより]
- 15 [エリア紹介] 日高市 高麗郡建郡1300年記念イルミネーション 坂戸市 坂戸駅北口に賑わいの灯が登場 東武線沿線情報 今年も発売「東武東上線 埼玉S級グルメきっぷ」

題字：創立者 水田三喜男 先生

今号の表紙 約1300人が参加して行われた創立50周年記念式典。総合体育館のステージでは、水田宗子理事長の式辞のほか、高円宮妃殿下のお言葉や来賓祝辞、学生代表の誓いの言葉などがありました。ステージ横には2台のスクリーンが設置されたほか、清光ホールでもスクリーンで式典の様子が映されました。式典は、最後にくす玉を割って半世紀の節目を祝いました。



半世紀の節目を 盛大に祝う

ニュース 創立50周年記念式典 2015.10.31

国内外から総勢 約1300人が参加

高円宮妃久子殿下ご臨席

創立50周年の記念式典が2015年10月31日、総合体育館で執り行われました。記念式典には高円宮妃久子殿下のご臨席を賜りました。海外の約50校の提携姉妹校の総長・学長・教授、ハンガリーやポーランド、ブリガリアの駐日大使、国会議員、自治体の首長・議員、団体や協力企業の関係者、城西短期大学と姉妹校の城西国際大学を含めた同窓会員や教職員・学生代表、地域の方々など総勢約1300人が参加して、半世紀の節目を盛大に祝いました。

式典に先立ち、高円宮妃殿下の国内外にわたる学術文化発展のための優れたご業績と、女性リーダーとして日本国を代表した活動に基づく国際交流の推進、本学の国際教育活動に対する多大なご貢献に感謝して、名誉博士記を贈呈いたしました。贈呈式の挨拶で水田宗子理事長は「様々な活動を通して日本の国際的な評価を高めてこられました。また、大変温かみで包み込むようなお人柄で私どもを励まし、導いてくださっています。



高円宮妃殿下に名誉博士記を贈呈する水田理事長



式辞を述べる水田理事長

す。本学から名誉博士記をお贈りできますことをたいへんうれしく光栄に存じております」と述べました。

水田理事長は式典の式辞で、創立者の水田三喜男の建学の精神「学問による人間形成」やこれまでの大学の歩みに触れ、「私たちは、これまで推進してきた国際社会と地域社会の連携による人材育成の新しい一歩をさらに踏み出していきたい」と語り、「地域の皆様方、海外の大学の皆様方からいただいたご支援が最も大切なものであったことを深く心に感じています。さらに多くの方々の期待に応えられる大学になるよう努力してまいります」と結びました。



盛大に行われた式典

「平和と友好の襷を次世代へ」

高円宮妃久子殿下お言葉



お言葉を述べられた高円宮妃殿下

高円宮妃殿下は名誉博士記の贈呈に感謝のお言葉を述べられた後、「私たちの祖父母や親の世代が多くの犠牲を払い、懸命に努力したからこそ、今日の平和があり、海外との友好関係があります。先人たちへの敬意と感謝の気持ちを携えながら、私たちが次の世代へと駆伝の襷のよ

うにしっかりとつないでいかなくてはなりません。現在(3大学で)学ぶ若い人たちには、日本の外に目を向けて世界とともに歩いていくための力を身に付けていただくことを期待しております。創立50周年を機に国際社会で活躍する人材の輩出に一層お努めいただくことをお願いするとともに、大学のさらなる充実と発展、ご隆盛を祈念します」とお話しになりました。

森本雅憲学長は「本当に多くの関係者の努力の賜物がこの50年を彩っているものと思っております。この50年の間に素晴らしい大学に成長したと言えることを大変、誇りに思います」と挨拶しました。

セルダハイ・イシュトヴァーン(István Szerdahelyi)駐日ハン

ガリ大使は来賓祝辞で「日本のたゆまない進歩を担う人々を50年にわたり送り出されてきた城西大学の社会に対する貢献に心から敬意を表します」と述べました。

在校生を代表して、現代政策学部3年の高野光一さんと大学院薬学専攻1年の小林由希さんが「先輩方が築かれた伝統を大切にしながら世界に広がる城西の輪を、これからの50年においても、さらに広げていく使命を感じている」「建学の精神をさらに高めていくことを約束します」と「誓いの言葉」を述べました。安倍晋三首相からの祝電の披露に続き、学歌斉唱、くす玉割りが行われ、式典を終了しました。



来賓祝辞をするセルダハイ大使



誓いの言葉を述べた高野さん(左)と小林さん

ニュース

創立50周年祝賀会

2015.10.31

美しい歌曲が花を添える

創立50周年式典に引き続いて祝賀会が行われました。水田宗子理事長の挨拶、柳澤伯夫・城西国際大学学長の乾杯音頭の後、来賓祝辞に移りました。昨年4月に高円宮妃殿下に名誉博士記を贈呈し、今年8月には水田理事長に名誉博士記を授与した韓国・韓南大学の金炯泰(Hyung Tae Kim)総長は聖書を引きながら「我々も協力と交流を通じて日韓両国の若者が互いの文化を尊重し、学問的に協力し合いながら東北アジアの発展に大きく貢献することを期待しております」と述べられました。アトラクションでは、韓国の東西大学校教授重唱団が韓国の歌曲や日本の「ふるさと」「月城の月」など5曲を披露



祝賀会で来賓祝辞を述べる韓南大学の金総長

し、祝賀会に花を添えました。

祝賀会の最後には、これまでの協力に感謝の意味を込めて、父母後援会や薬学協会、同窓会のほか、海外姉妹校、協力企業やメディア、地域の方々に水田理事長から感謝状が贈られました。また、代表者に城西ファミリー賞が贈られました。

高円宮妃殿下は式典や祝賀会の合間を縫って、7月1日に仮オープンした水田三喜男記念館展示室をご見学。水田美術館で収蔵する東洲齋写楽の全作品9点などを特別公開した「水田コレクション 精華展」(11月3日まで開催)を熱心に鑑賞されました。



水田理事長の案内で水田三喜男記念館展示室を見学される高円宮妃殿下



東西大学校教授重唱団によるコーラス



水田三喜男記念館・新薬学部棟建設工事 起工式

2015.10.6

水田理事長が鍬入れ 学長らが玉串奉奠

創立50周年記念事業の水田三喜男記念館・新薬学部棟建設工事の起工式が2015年10月6日、執り行われました。前号で触れたように、両建物とも阿部仁史アトリエ代表取締役の阿部仁史氏と久米設計が設計監理。大林組が施工し、2017年3月の完成を目指します。

地鎮祭には大学関係者や工事関係者ら約90人が参加。神職による祝詞奏上などに続いて、水田宗子理事長らが鍬入れ、森本雍憲学長らが玉串を奉奠して

鍬入れをする水田理事長

工事の無事を祈りました。

水田理事長は直会の施主挨拶で「ようやく本日、起工式を挙げる事ができました。皆さまは創立以来、私どもの大学を見守ってくださり、創立者の志を共有して下さって今日ここに至りました。感謝の気持ちでいっぱいです」と述べました。設計監理者を代表して阿部氏は「この50年が今の日本人をつくるためのプラットフォームだったとしたら、これからの50年は新しい日本人をつくるためのプラットフォームになる。これからの人を形成していく場所の一部の設計にかかわれたことは大変光栄に思っています」と語り、大林組の浦進悟・専務執行役員東京本店長は「本社と現場が一体となって一日でも早く工期内に高品質な建物を完成させたい」と述べました。



直会で挨拶する阿部仁史氏

ニュース

2015. 10.31~11.2 **第48回高麗祭**

半世紀の集大成

～楽しい高麗祭 あなたにコミット～

本学の一大イベントである第48回「高麗祭」は10月31日から11月2日までの3日間、開催されました。今年のテーマは創立50周年にちなみ、「半世紀の集大成～楽しい高麗祭 あなたにコミット～」。10月31日、創立記念式典に先立ち、清光ホールで行われた開祭式で、長谷川歩・高麗祭実行委員長（現代政策4）は「紅葉が深まるこの時期、高麗祭を開催できることは皆さまのご支援、ご協力のおかげです。50周年を迎え、たくさんの来賓の方々に来ていただきました。これも今まで積み上げてきた実績の賜物と感じています」と感謝の言葉を述べました。その上で、「今年のテーマには、これまでの歴史を生かし、より素晴らしいものにする気持ちが込められていると思います。実行委員会一丸となって来てくださった皆さんに笑顔届けられたらと思います」と力強くあいさつしました。



挨拶する長谷川委員長

期間中は芸人のバックンマクソンの講演会のほか、立川談四楼

留学生展示会ではダンスのパフォーマンスも



さんの落語、磁石や江戸むらさきのお笑い、ライブなど多彩なイベントが展開されました。

10月31日には、父母後援会と同窓会による人気の物産展も行われ、多くの来場者でにぎわいました。また11月1日には青空の下、チアリーダー部=写真下=や空手道部、少林寺拳法部、剣道部などが演武を披露しました。

11月2日の最終日はあいにくの雨となりましたが、昼すぎにはあがり、チアリーダー部のパフォーマンスやヒーローショーなどで盛り上がりを見せました。女優の川口春奈さんのトークショーでは、最後に川口さんとの大ジャンケン大会が行われ、勝ち残った2人の理学部生に川口さんから、ロケに行った沖縄のお土産「シーサー」がプレゼントされると、会場は騒然となりました。

閉祭式で、倉成正和学生部長は「50周年式典、祝賀会と重なり、いろいろな制約があった中で無事に滞りなく終了できたことは素晴らしいこと」と学生たちを労いました。

今年の各賞は次の通り。

- 【高麗祭大賞】全學應援團
- 【理事長賞】留学生展示会
- 【学長賞】チアリーダー部
- 【学生部長賞】天文研究会
- 【父母後援会長賞】薬学部薬学会
- 【同窓会長賞】落語研究会



野外ステージでのお笑い



ニュース 世界学長会議

「グローバル社会と高等教育：新時代における日本の国際教育への提言」

海外の提携姉妹校のうち約40校の学長や副学長らが参加



会議の冒頭、挨拶する水田理事長



多面的で貴重な意見交換の場となりました



参加者全員による記念撮影

創立50周年を記念した「世界学長会議」が2015年11月1日、東京紀尾井町キャンパス3号棟の国際会議室で開催されました。会議には城西大学の森本雅憲、城西国際大学の柳澤伯夫の両学長のほか、前日の創立50周年記念式典に招いた海外の提携姉妹校のうち約40校の学長や副学長らが参加。「グローバル社会と高等教育：新時代における日本の国際教育への提言」をテーマに論議しました。多くの大学の参加を得て、それぞれの国、大学が置かれている現状と今後の展望について積極的な意見交換が行われ、有意義で貴重な会議となりました。

会議の冒頭、水田理事長は挨拶で「国際教育の推進には、海外パートナー大学との協力や情報共有が必要。教育のグローバル化に対する取り組みや課題について共有し、また我々にアドバイスをいただければうれしい」と述べました。

大学経営に詳しい吉武博通・筑波大学ビジネスサイエンス系教授（城西大学国際学術文化振興センター外部委員）が進行役を務め、2部構成で会議が行われました。第1部では、ケルン大学（ドイツ）マブルゴーニュ大学（フランス）マケンブリッジ大学マブダベスト商科大学マミコラス・ロメリス大学（リトアニア）マウッチ大学（ポーランド）マブスティマ大学（ウガンダ）マカリフォルニア州立大学ロングビーチ校マ貿易大学（ベトナム）ママネジメント&サイエンス大学（マレーシア）マ東西大学（韓国）マ天津外国語大学（中国）の12大学の学長や副学長らがそれぞれ、自校における国際教育

の取り組みや課題などを発表しました。

このうち、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校のジート・ジョシー副学長は「2020年までに留学生を2倍にするため奨学金ファンドをつくり、世界から教員をリクルートしている」と明かしました。また、城西大学の建学の精神「学問による人間形成」に関連し、「グローバル教育には人格形成が必要。（城西大学は）50年前から分かっておられた」と述べました。

東西大学の張済国総長は、城西大学を含めアジアの12カ国20大学で創ったグローバルオンライン講義のシステム「GAA (Global Access Asia)」を紹介し、「アジアの域内問題にも焦点を当ててプログラムを作っていく。ぜひGAAに参加を」と呼びかけました。第2部では、第1部の各大学からの発言を踏まえて意見交換が行われました。

吉武教授は「多面的かつ貴重な、深いお話をいただいた。それぞれ置かれている状況は違うが、共通した課題が多いことも理解できた。これからも研鑽を積み、さらに皆さんの国、大学と議論をさせていただきたい」と結びました。



発言する東西大学の張総長

シリーズ

先輩訪問

各界で活躍する卒業生を紹介する「先輩訪問」。今回はホテルメトロポリタン盛岡取締役総支配人の吉田亮さん(59)をJR盛岡駅前のホテルに訪ねました。



失敗してもへこむことなく アクティブにチャレンジを

ホテルメトロポリタン盛岡取締役総支配人 吉田 亮さん (1979年 経済学部卒)

—どんな学生生活でしたか。

「盛岡に育ちましたので、大学は親元を離れてみたいと首都圏の大学を選びました。1、2年のころは勉強をきちんとしていましたが、3年になると、いろいろと興味が出てきて、外国に行きたい願望が大きくなったんです。それでアルバイトに精を出しました。食事付きということで、ホテルや飲食店が多かったですね(笑)。卒業した春休みに2週間、一人でシアトルを中心にアメリカを旅しました。その旅のチャレンジが今につながっている気がします」

—ホテルマンになられた理由は。

「ホテルでアルバイトをしていた際に会った先輩に一番影響を受けました。私は22歳。先輩は27歳の5歳違いでしたが、ずいぶん歳上に見えました。厳しかったんですが、非常に格好はいいし、また仕事ぶりも素晴らしい。先輩みたいになりたいというのが(ホテルに就職した)動機でした。忘れられないのは、ある時、ひどく怒られたことです。その際にプロという言葉初めて教わりました。アルバイトといっても、ちゃんと制服を着てネームプレートもつけている。お客さまから見たら社員もアルバイトもない。月給か時給かは関係ない。お金をもらってれば、プロなんだと。怒られながら、なるほどなと思いました。今は、自分がそのフレーズを使わせてもらっています(笑)」

—ホテルマン一筋で総支配人に？

「実は28歳から38歳まで普通の会社で営業マンをしているんです。いやだから辞めたのではなく、ホテルを使う側になりたいという気持ちになって。営業も厳しく、いろいろなことを経験しましたが、20年前に新館を立ち上げる際にホテルの大先輩から声をかけていただいて、レストランの統括責任者として戻りました。今さらという気持ちもありましたが、ほかの仕事をして逆にホテルが分かった部分がたくさんあって、それを生かせれば」と

—ホテルのホームページのトップは「おもてなし」です。

「お客さまは、いろいろな目的でホテルを訪れます。まず、接客する担当が、お客さまの目的をきちんと理解できているかどうか、「おもてなし」の前提となります。やはり、最初の入り口から、次にどうつなげていくか。気持ちのいいサービス、気持ちのいいこと、在庫にできないんです。今日いい感じだったとしても、次に外れると前のものがゼロになってしまう。逆にお客さまから評価をいただくと、ありがたい、ああ良かったという気持ちになりますね」

—好きな言葉はありますか。

「だれも苦勞を願っている人はいないと思いますが、後になって考えるとあの時の苦勞が今につながっていると思うことがあります。座右の銘ではないですが、苦しいときに、『苦は楽の種』と自分に言い聞かせています。英語では、もっとストレートに『ノーペイン、ノーゲイン』でしょうか」

—後輩へメッセージをお願いします。

「失敗しても、へこむことなくアクティブにチャレンジしてほしいですね。チャレンジしたいからトライがあると思うんです。就職も大変ですよ。自分がなりたいものを具現化するわけですが、必ずしもそこで一生が左右されるわけではない。何の仕事、何の部署だろうが、自分が一生懸命チャレンジしていれば、道は開けると思います」

■ホテルメトロポリタン盛岡

JR盛岡駅に直結の本館(9階建て)と徒歩3分の新館「NEW WING」(11階建て)からなる。総部屋数は合わせて312。大小宴会場や多彩なレストラン、チャペル、神殿などを備える岩手県を代表する都市ホテル。ホテルメッツ北上・八戸も直営。TEL:019-625-1211(代表)

ニュース

現代詩イベント 2015.11.6

「Modern Poetry Event III」
現代詩に関する座談会と詩・連詩朗読会

現代詩に関する座談会と詩・連詩朗読会のイベント「Modern Poetry Event III」(屋根に残った破れ靴～日中韓詩人たちの集い～)が2015年11月6日、思潮社の後援を得て東京紀尾井町キャンパス1号棟ホールで開かれました。創立50周年を記念するイベントの一環。詩人で比較文学者でもある水田理事長をはじめ、中国を代表する現代詩の詩人・評論家の西川(Xi Chuan)氏や国際的に評価の高い韓国の文貞姫(Moon Chung-hee)さん、日本を代表する詩人合わせて10人が参加し、現代詩の表現と可能性、言語と翻訳などを巡って語り合い、作品を朗読しました。参加者はほかに、財部鳥子さん、高橋睦郎氏、吉増剛造氏(城西国際大学客員教授)、杉本真維子さん、文月悠光さん、竹内新氏、田原氏(同)でした。

第1部の座談会の冒頭、水田理事長は「50周年を記念してこのほど国際現代詩センターを立ち上げました。今回のイベントはセンター開設記念でもあります」と挨拶しました。西川氏は座談会で



「詩の存在は我々、現代人にとってとても重要なもので、詩人は未知の世界を探求し、発掘していく役割を果たしている」と語りました=写真上。

第2部の朗読会では、10人がそれぞれ自作を複数点朗読。高橋睦郎氏の物語のような詩は涙を誘い、吉増剛造氏と急遽参加のマリアさんの歌とともになされた朗読もその美しさで会場を沸かせました。最後に大連外国語大学の陳岩教授、大連市中日友好学会の杜鳳剛会長、日本現代詩人会会員の佐川亜紀さんも加わって連詩の朗読も行われ、ホールを埋めた聴衆から大きな拍手を受けました。



◎座談会の様子
◎最後は6人による連詩の朗読

展覧会

特別展「水田コレクション 精華展」 2015.10.31~11.3

写楽作品を含む28点の特別公開など

創立50周年を記念して特別展「水田コレクション 精華展」が10月31日から11月3日まで、水田美術館で開かれました。

約200点のコレクションの中から、普段は展示していない東洲斎写楽の「谷村虎蔵の鶯塚八平次」や「松本米三郎のけいは坂の少将実はしのぶ」など写楽作品全9点を含む28点を特別公開したほか、葛飾北斎、喜多川歌麿、菱川師宣、鈴木春信らの浮世絵や近代美人画の作品も展示。50周年記念式典の招待客や高麗祭に訪れた多くの地域の方たちが熱心に鑑賞していました=写真。



ニュース

坂戸よさこい 2015.10.10~10.11

経営学部学生会が参加

15回目を迎えた「坂戸よさこい」が10月10、11日の両日開かれ、今年も経営学部学生会=写真=と、ダンスサークル「SHOE LAC E」が参加して祭りを盛り上げました。「坂戸よさこい」はこれまで毎年8月に行われてきましたが、猛暑を避けて今年から10月開催になりました。

経営学部学生会は10日にパレード。よさこい祭代表の塚田康友さん(3年)が「今年は時間差や隊列変化、左右対称など凝った踊りになっています。大学生という、若さゆえのエネルギッシュな踊りを見ていってください」と口上を述べて、ダイナミックな踊りを披露しました。

メンバーは講義の後や夏休みを利用して練習を重ねてきました。1年生の時から参加している学生会の岡田健吾会長(3年)は「今年は躍動感のある踊りができたと思う。ただただ楽しくて、終わってみると来年もまた参加したいと思えてくる」と笑顔で語っていました。



スピーチコンテスト 2015.10.24

第24回 日本語スピーチコンテスト
最優秀の理事長賞にトート・エリックさん

第24回を迎えた日本語スピーチコンテストが2015年10月24日、開かれました。別科の主催で、在日3年未満の留学生14人が、日本での学習や暮らしの中で感じたことなどを7分以内で表現しました=写真。

参加したのは、中国、モンゴル、ウズベキスタン、ベトナム、スウェーデン、ハンガリーの6カ国の留学生。最優秀の理事長賞には「和を作ってみよう」と題してスピーチしたハンガリーから現代政策

学部に留学しているトート・エリックさんが選ばれました。「日本文化には和が非常に大切だと知った。帰国したら、和の大切さを広めたい」などと語りました。



奉仕活動 2015.10.24

県と中国山西省の友好の記念館を清掃
現代政策学部の留学生28人

現代政策学部の留学生28人が10月24日、小鹿野町両神薄にある県山西省友好記念館「神怡館」を訪れました。9月に中国・大連や北京、上海などから留学した学生らで、館内を見学したほか、清掃のボランティア活動も行いました=写真。

神怡館は、県と中国山西省の友好締結(1982年)後、10周年を記念して1992年に建設されました。唐の時代の寺院を模した外観を持ち、中国ゆかりの品々約500点を展示しています。

留学生たちは、前坂戸市長で同学部の伊利仁・招聘教授の指導で日本の文化、歴史、地方自治などを学びながら日中友好を深めています。この日は二胡などの演奏を学んでいる地元の人たちの演奏にも聴き入りました。



シリーズ

学生瓦版

城西大学広報委員会のメンバーが学内外で活躍する団体、個人を紹介する学生瓦版。今回もワイド版でお送りします。

怖がらず気軽に参加してほしい

合気道部主務 穴山翔一さん(現代政策学部4年)

合気道とは、合理的な体の運用により体格や体力によらず相手を制することが可能な、日本を代表する武道の一つだ。試合はなく、演武会という形を披露する大会が存在する。

合気道には流派がいくつか存在し、本学の合気道部は合気道の開祖である植芝盛平翁が設立した合気会という、合気道では最も大きな流派を学んでいる。現在の部員は13人=写真。週に5回活動し、4年間で合気道初段取得を目指している。普段は自分たちで練習をしているが、週に1回、合気会本部道場から師範の先生にお越しいただき、指導を受けているようだ。合気道部は師範が同じ大学との交流も行っているほか、学内の他の武道部との交流もあ



るといふ。

主務の現代政策学部4年の穴山翔一さんは「合気道は大学から始める人がほとんどで、武道だからといって怖がらず気軽に参加してほしい」と呼びかけている。

取材:須田達也(現代政策学部4年)

高麗祭実行委員会 約300人で活動

委員長 長谷川歩さん(現代政策学部4年)、
次期委員長 町田豪斗さん(薬学部薬学科3年)

「今年は創立50周年で、高麗祭実行委員会としても忙しい日々だったが、その中でやりがいを感じながら取り組めた」。そう語ってくれたのは高麗祭実行委員会委員長の長谷川歩さん(現代政策学部4年)と次期委員長の町田豪斗さん(薬学部薬学科3年)だ。実行委員会は約300人で活動している。毎

年、多彩なゲストを迎えているが、これも実行委員会の大きな仕事だ。委員長、副委員長、財務を主に、このほかコンサート、編集、総務、広報、製作警備、運営管理、企画局と細かく分かれている。



ジョー君を挟んで左が町田さん、右が長谷川さん

「仕事量が多く、変更点もあって辛さもあったが、多くの人たちが来場してくれて、お客さんからの『楽しかった』の一言だけでも、もらえてうれしかった」と長谷川さんは振り返る。そして後輩たちに「幹部みんなで協力して活動し、もっと盛り上げてほしい」と託した。

学生に向けては「今までやってきて何回も辛いことがあったが、やりとげてきて得るものも多かった。困難もあるだろうが、目標に向かって努力してほしい」とのメッセージを残してくれた。

取材:郡司拓実(現代政策学部3年)

実行委員会メンバー



※広報委員会ではニュース・話題を募集しています
jukoho1@gmail.com

身近な本屋さん 紀伊國屋書店 どんな本でも良いので手に取ってみて

今回の働く人シリーズは、第2食堂棟2階にある紀伊國屋書店=写真=取材した。

教科書を中心とする勉強に役立つ本はもちろん、小説などの幅広い本が置かれている。学生からの要望や全国の大学の書店の売れ筋商品なども参考に書籍を取り寄せる。教科書だけでなく、学生や教職員の息抜きになる雑誌などの品揃えもと気を使っているという。

やりがいもあるが、苦労もある。新学期など大量の教科書販売の際の力仕事や、売れ残ってしまった商品の返品など。心がけていることは、学生や教職員の要望に応えるため品切れをできるだけ出さないことだという。

店長の大谷茂樹さんは「最近、本を読んでいる学生が少な

いと感じるがあるので、どんな本でも良いので、手に取って読んでほしい」と話していただいた。平日9時15分～16時30分、土曜9時15分～13時に営業している。

取材:宮本佑輔(経済学部2年)、池田みなみ(薬学部4年)、中原雅人(経営学部4年)



城西大学に「ローカルヒーロー」誕生!

経営学部 石井龍太ゼミナールI 縮見太郎さん(経営学部3年)

子供たちに人気のヒーローは、地域振興でも注目されている。そんな「ローカルヒーロー」が、城西大学にも誕生した。

経営学部の石井龍太ゼミナールIでは、地域振興や福祉の点から「ローカルヒーロー」に注目し、研究している。全国各地でローカルヒーローは200種類以上存在し、石井ゼミナールIでは実際にヒーローショーを見学するなどして研究を進めてきた。

石井ゼミナールIでの活動はそれだけにとまらない。研究した内容をもとに、学生たちが実際にヒーローに変身し、ローカルヒーロー「ユニバーターJ」などとして、地域のイベントなどで活躍している。

シナリオ、音響、衣装デザインまで学生たちが中心になり、本

格的な仕上がりとなっている。2人のヒーローと7人の悪役たちが繰り広げる物語は、子供たちだけではなく、大人が見ても楽しめるつくりになっている。高麗祭で行ったヒーローショーは、ユニークな物語で盛況を博した。

ヒーローに変身するときは、見られ方やキャラクター通りの動きができていないかなど、歩き方などにもこだわりを見せる。その分、ショーやグリーティングでは体力勝負になり、時間に限界があるのが苦労する点のようだ。

副ゼミ長を務める経営学部3年の縮見太郎さんは「これからも活発に活動させていただくので、ぜひ応援をお願いします」と力強く語っている。

城西大学発のローカルヒーローの活躍から今後も目が離せない。

取材:戸澤敦子(経営学部4年)



左から5番目がヒーローのユニバーターJ、その右がもう一人のヒーローのユニ

図書館だより

鶴ヶ島市図書館まつりに参加

9月26、27日に鶴ヶ島市立中央図書館において開催された第28回図書館まつりに参加し、「世界を魅了した日本の版画」をテーマに海外で出版された日本の版画に関する図書館資料や美術館所蔵の複製版浮世絵を展示しました=写真。

さらに、大学の成果物であるハーブ石鹸、みんなで栄養かるた、みんなでお薬かるた、レシピ集などのご紹介、大学図書館・美術館の地域開放などをご案内し、本学を知っていただく貴重な機会となりました。



ビブリオバトル全国大会への挑戦

10月2日、視聴覚室において「知的書評合戦ビブリオバトル全国大会予選会」を開催し、19人が4ブロックに分かれてそれぞれのおすすめ本を紹介しました=写真。発表は、部活やアルバイト、就職活動の際に読書で得たことを実践し自分が成長できた経験など、熱意が感じられる内容でした。発表者を含む92人の投票により選ばれた4人のチャ

ンプは今後、全国大会へ向けての各地区決戦へと挑戦が続きます。また、11月1日には高麗祭メインステージにおいて図書館学生アドバイザー主催の「ビブリオバトルin高麗祭」を開催し、ゼミ代表5名が発表しました。チャンプ本には、勝浦ゼミ代表の小川麗薫さん(経済学部3年)が紹介した「一瞬で自分を変える法」が選ばれました。

図書館地域アドバイザー会議を開催

10月7日に昨年度からミニ講演会等でご活躍いただいている図書館地域アドバイザーのメンバーが決まり、委嘱状授与式および第2期会議を開催しました。

新メンバーの伏島さん、木村さんとともに、学生たちに読書の楽しさを伝えるための活動について、活発な意見が交わされました=写真。



城西大学創立50周年記念 水田記念図書館企画展示

10、11月に図書館1階において大学創立50周年を記念した企画展示「水田記念図書館～今昔物語～」を開催しました=写真。水田記念図書館は1965年に理学部、経済学部の各図書室として開設以来、学部増設に伴い各分野の資料をそろえ、現在

の蔵書数は45万冊の総合図書館となりました。展示では50年の歩みを表した年表、写真、図書館運営に関する稟議書、図書館最初の登録図書と原簿などを紹介し、図書館の歴史を振り返りました。



エリア紹介

日高市

高麗郡建郡1300年記念イルミネーション

平成28年(2016年)に武蔵国に高麗郡がおかれて1300年を迎えます。日高市は、先人がこの土地に築き上げてきた大切な歴史や文化に感謝し、未来に引き継いでいくため、高麗郡建郡1300年を市民の皆さんと祝いする記念事業を行っています。

この記念事業の一つとして、11月26日からJR高麗川駅の駅前広場にあるモニュメント「日韓交流の塔」を活用した、日高市商工会青年

部によるイルミネーションが始まりました。高麗川駅にお立ち寄りの際は、冬の街に輝く大きなモニュメントのイルミネーションをご覧ください=写真。

日高市では、平成28年5月21日(土)、22日(日)に「渡来から未来へ」をテーマに「祝!高麗郡建郡1300年記念祭」を開催する予定です。記念式典のほか、ユネスコ世界遺産に登録されている高句麗古墳壁画をモチーフに再現した高句麗衣装に身を包んでの、建郡時と同じ1799人による「にじのパレード」やグルメイベントなど、楽しい企画を予定しています。詳しくは順次、市ホームページでお知らせします。



坂戸市

坂戸駅北口に賑わいの灯が登場

毎年恒例の坂戸駅北口イルミネーションが11月29日に点灯しました。今年も、城西大学の学生や地域の方がボランティアとして約2万球のイルミネーションの準備に参

加しました。

点灯式当日は草野素雄副学長をはじめ、経営学部石井ゼミによる「ヒーローショー」の披露があり、大変盛り上がりしました。

このイベントは、平成18年から行われていて、主催している「坂戸市中心商業地研究会」では、毎年7月に七夕まつり、8月に坂戸夏よさこいも開催しています。イルミネーションをはじめ、これらのイベントにも多くの城西大学の学生がボランティアとして参加し、若い力で坂戸駅北口の賑わい創出に大いに協力しています。

イルミネーションは、平成28年1月10日(日)まで、タイムズ坂戸駅北口駐車場(坂戸市日の出町サンロード商店街内)で点灯しています。

みなさんぜひお越しください。



市民カメラマン・石村修哉さん撮影

東武線沿線情報

今年も発売「東武東上線 埼玉S級グルメきっぷ」

東武東上線では、東上線・越生線1日乗り降り自由のフリー乗車券と、東上線・秩父鉄道沿線の「埼玉S級グルメ」認定店舗でご利用いただけるお食事券がセットになった大変便利でお得な乗車券「東武東上線 埼玉S級グルメきっぷ」を今年も発売しています=写真。

昨年から引き続きの8店舗に加え、新たに「埼玉S級グルメ」に認定された5店舗を含む計13店舗が対象となりました。

さらに、よりお買い求めいただきやすくした、利用できる店舗によって異なる2タイプの発売金額(Aタイプ:3,400円・10店舗対象、Bタイプ:2,500円・3店舗対象)を設定しています。

この「東武東上線 埼玉S級グルメきっぷ」で、東武東上線・秩父鉄道の観光スポット巡りやお買物などをお楽しみいただくとともに、「埼玉S級グルメ」をご堪能いただき沿線の魅力を満喫してください。

(秩父鉄道をご利用の場合は、別途同線の乗車券が必要です)



編集/学校法人城西大学 広報センター
発行/城西大学 総務部総務課
〒350-0295
埼玉県坂戸市けやき台1-1
TEL049-271-7712
http://www.josai.ac.jp